

# 社会福祉法人 三徳会 会報 【令和3年度事業の報告】

令和4年7月25日

関係各位におかれましては、平素よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

令和3年度の事業の概要について、以下のとおりお知らせいたします。

## 1. 事業報告

- ① 法人本部： 理事会 5 回、評議員会 5 回開催しました。決算理事会において、監事から健全に運営されている旨の監査結果が報告されました。評議員の改選があり、1名が新たに就任、他は再任されました。十和田めぐみ保育園園舎整備時の福祉医療機構借入金、元金本年度分返済額 1,050,000 円を償還しました。  
令和3年度4月1日に児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援事業を行う「だいじ」を開設しました。
- ② 十和田めぐみ保育園： 105名定員で3月末の入所児童数は110名。年間平均入所率は99.1%でした。3月末の全職員数は35名でした。感染症流行下にクラスターが発生し、その後も感染者の断続的発生によって部分休園が数回ありました。保護者の皆様のご理解とご協力、市の適切な指導によって、保育を継続しました。行事も縮小や中止にすることが多くありましたが、オンラインの工夫をして楽しく保育することができました。園舎改築後15年目を迎え、外壁や屋根等の大規模な改修を行いました。保育の自己評価では、保育技能や子ども理解、障害児保育の向上、職員間のコミュニケーションが課題となりました。ファミリーサポートセンターも感染症拡大予防を優先し、講習会やPR活動が縮小や中止となりました。感染予防に留意して活動しました。
- ③ みきの保育園：105名定員で3月末の児童数は90名、年間平均入所率は90.3%でした。3月末の職員数は27名でした。感染予防をしながら様々な行事を行いました。園庭の改造を行い、運動遊びが広々と行えるようにしました。新型コロナウイルスの感染症により、部分的に休園することが数回ありましたが、大きい流行にならずに過ごすことができました。概ね元気で楽しく過ごすことができました。だいじとの連携が少しずつかみ合っ、成果を上げました。積立金からだいじに運営資金を繰り入れしました。保育の自己評価では、保育技能や質の向上、障害児保育が課題となりました。
- ④ だいじ：開所後、徐々に利用人数は増えてきましたが、収入不足による赤字で、みきの保育園の積立金から繰入を受けました。公認心理士、作業療法士という専門職種を揃えていますが、給与支出が大きい割に専門性の活用がまだうまくできていないのが課題です。アンケートでも療育の成果が見えない等の厳しいご意見があったので、活動内容の見える化も課題です。職員研修を強化して支援の向上を図ります。
- ⑤ 地域子育て支援センター： 新型コロナウイルス感染が拡大した時期には活動休止しました。再開してからも人数の制限、飲食の停止は継続しています。ファミリーサポートセンターと協力して、YouTubeで動画による子育て支援コンテンツの配信を始め、思いがけない視聴数を上げました。できることを模索しながら、地域への子育て支援を行いました。
- ⑥ 地域健全育成事業(ちとせ小学校仲よし会)：3月末で123名の在籍でした。9名の支援員に加えて、シルバー人材センター派遣の支援員補助員を活用しています。新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生して、部分的に閉鎖することが何度かありました。保護者の方々のご理解によって、差別やプライバシーの侵害にあたるような行為は起きませんでした。概ね楽しく過ごすことができました。

2、会計報告

令和3年度 決算報告書概要

社会福祉法人 三徳会

貸借対照表

令和4年 3月31日 現在

単位:円

資産の部		負債の部	
流動資産	55,697,500	流動負債	24,504,953
固定資産		固定負債	6,504,000
基本財産	138,515,387		
その他の固定資産	212,230,219		
		負債の部合計	31,008,953
		純資産の部	
		基本金	40,155,720
		国庫補助金等特別積立金	65,185,982
		その他の積立金	178,000,000
		次期繰越活動収支差額	92,092,451
		純資産の部合計	375,434,153
資産の部合計	406,443,106	負債及び純資産の部合計	406,443,106

資金収支計算書

自:令和3年 4月 1日

至:令和4年 3月31日 単位:円

事業活動	事業活動収入計(1)	350,179,882
	事業活動支出計(2)	325,289,477
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	24,890,405
設備整備	施設整備等収入計(4)	0
	施設整備等支出計(5)	4,332,007
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	▲ 4,332,007
その他活動	その他の活動による収入計(7)	0
	その他の活動支出計(8)	25,000,000
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	▲ 25,000,000
	予備費(10)	0
	当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	▲ 4,441,602
	前期末支払資金残高(12)	37,279,349
	当期末支払資金残高(11)+(12)	32,837,747

事業活動計算書

自:令和3年 4月 1日

至:令和4年 3月31日 単位:円

サービス活動	サービス活動収益計(1)	345,788,750
	サービス活動費用計(2)	338,787,866
	サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	7,000,884
サービス活動外	サービス活動外収益計(4)	4,391,132
	サービス活動外費用計(5)	0
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	4,391,132
経常増減差額(7)=(3)+(6)		11,392,016
特別	特別収益計(8)	0
	特別費用計(9)	3,676
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)	▲ 3,676
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)		11,388,340
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	105,704,111
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	117,092,451
	基本金取崩(14)	0
	基本金組入額(15)	0
	その他の積立金取崩額(16)	0
	その他の積立金積立額(17)	25,000,000
次期繰越活動増減差額 (18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)		92,092,451

なお、詳細については事務室にて閲覧できますので、ご希望の方はお申し出頂きますようお願いいたします。

職員一同、これからも研鑽を重ねます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。